

■  $(x, y) \in \mathbb{R}^2$  に対して, 次の命題関数を定義する.

$$\begin{aligned} P(x, y) &: |x| + |y| \leq 1, & Q(x, y) &: x + y \leq 1, \\ R(x, y) &: |x|^2 + |y|^2 \leq 1, & S(x, y) &: x^2 + y^2 \leq 1, \\ T(x, y) &: |x|^3 + |y|^3 \leq 1, & U(x, y) &: x^3 + y^3 \leq 1. \end{aligned}$$

上記の命題関数から, 命題  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies \boxed{\phantom{R(x, y) \implies Q(x, y)}}$  が成り立つ命題関数  $\boxed{\phantom{R(x, y) \implies Q(x, y)}}$  を選び, その理由を述べよ.

(解) 命題関数  $P(x, y)$  および  $Q(x, y)$  について:  $a = b = 1/\sqrt{2}$  とすると,  $|a|^2 + |b|^2 = 1$  より  $P(a, b)$  は真であるが,  $|a| + |b| = \sqrt{2} > 1$ ,  $a + b = \sqrt{2} > 1$  より  $P(a, b)$  および  $Q(a, b)$  は偽である. 命題  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies P(x, y)$  および  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies Q(x, y)$  は成り立たない.

命題関数  $R(x, y)$  および  $S(x, y)$  について: 任意の  $z \in \mathbb{R}$  に対して  $z^2 = |z|^2$  であるから, 任意の  $(x, y) \in \mathbb{R}^2$  に対して  $R(x, y) \equiv S(x, y)$  である. したがって, 命題  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies R(x, y)$  および  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies S(x, y)$  が成り立つことは明らかである.

命題関数  $T(x, y)$  および  $U(x, y)$  について:  $|a|^2 + |b|^2 \leq 1$  ならば,  $|a| \leq 1$ ,  $|b| \leq 1$  であるから,

$$|a|^3 + |b|^3 = |a|^2 \cdot |a| + |b|^2 \cdot |b| \leq |a|^2 \cdot 1 + |b|^2 \cdot 1 = |a|^2 + |b|^2 \leq 1$$

となり, 命題  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies T(x, y)$  が成り立つ. また, 任意の  $z \in \mathbb{R}$  に対して,  $z \leq |z|$  より  $z^3 \leq |z|^3$  であることに注意すると,

$$|a|^2 + |b|^2 \leq 1 \implies |a|^3 + |b|^3 \leq 1 \implies a^3 + b^3 \leq 1$$

が成り立つので, 命題  $\forall(x, y) \in \mathbb{R}^2 : R(x, y) \implies U(x, y)$  が成り立つ. ■